

教員名	石塚 道子 (ISHIZUKA Michiko)
所 属	文教育学部人文科学科グローバル文化学環
学 位	博士 (地理学)
職 名	教授
URL/E-mail	ishizuka.michiko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード

地域研究 / カリブ海 / クレオール

◆主要業績

総数 (3) 件

- ・ 論文「地に呪われた者は立ち上がったのか—マルティニクの煩悶」田沼幸子編『ポスト・ユートピアの民族誌—トランスナショナリティ研究5』大阪大学 21 世紀COEプログラム『インターフェイスの人文学』
- ・ 論文「さまざまな記憶の交差する場—小アンチル諸島の自然と文化—」酒井正人・鈴木紀編『新世界地理・第 14 巻アメリカ II-ラテンアメリカ』朝倉書店 (印刷中)
- ・ 論文「マルティニク:クレオールの食卓」山本紀夫編『世界の食文化・第 13 巻中南米』農山漁村文化協会 (印刷中)

◆研究内容

近代における「西欧文明=普遍」/「野蛮=特殊」という図式による地政文化的な分断の中で作動している人種主義、ナショナリズム、エスニシティ、ジェンダー、セクシュアリティにかかわる「アイデンティティ・ポリティクス」や「記憶の政治」についてカリブ海小アンチール諸島をフィールドとして論考する。

◆教育内容

学部では「現代社会と文化」についての分析能力を学際的な視点から学部・学科の境界をこえて習得する場としての「グローバル文化学環」教育カリキュラムのうち「文化理論・文化分析方法論」授業・教材開発をおこなった。大学院前期課程では「開発」にかかわるさまざまな言説テキスト分析力を養成を目的とする研究指導をおこなった。

◆将来の研究計画・研究の展望

「クレオール」という文化研究の視点にたつて、グローバル・マイグレーションのもとでの文化変動、文化の政治学研究理論を開発していきたい。

◆共同研究可能テーマ・今後実用化したいテーマ

・「文化変化・文化創造」についてのカリブ海地域以外の地域研究者との共同研究

◆受験生等へのメッセージ

身近な「異文化の風景」を探し出す眼を見開いていくために「グローバル文化学環」はあることを知ってください。